



ユネスコエコパーク通信

里山を歩く「ひやらひやーつウォーク」を開設

地域住民やてるはの森の会で構成する「地域づくりワーキンググループ」は、5年前から地域の宝探しを始め、ウォーキングコースづくりを進めてきました。

国内各地では、イギリス発祥のフットパスや韓国で生まれたオルレなどを手本に、里山を歩くコースづくりが盛んに行われています。綾では、森林や田園風景、地域に残りのままの風景を楽しむ



コースづくりを目指し、「綾ひやらひやーつウォーク」の3コースを開設しました。「ひやらひやーつ」とは綾町の方言で、ずらずらと並んでいる様子を表しており、たくさんの方に訪れてほしいという願いが込められています。コースづくりを進めながら、マップ作成とガイド養成に取り組んできた同グループ。今年3月には、お披露目イベントで綾町の12人がガイ

ドとしてデビューしました。

同イベントでは、「錦原公苑・綾城コース」「上畑コース」「宮原コース」の3コースに町内外の45人が参加。「小さな森や巨木、馬事公苑など景観に変化があつていい」「日本の懐かしい田舎の風景に心が和んだ」「綾にはあちこちにたくさん小さな祠があつて驚いた」「おいしい野菜のお土産が付いていてうれしかった」などの感想が寄せられました。

これから、参加者アンケートの結果などを参考に、ますます楽しい「ひやらひやーつウォーク」にできるよう盛り上げていきます。各コースの見どころなどを紹介したコースマップは綾町産業観光案内所にあります。また、ガイド仲間も随時募集中です。

■問い合わせ先／
ユネスコエコパーク推進室
☎ 77・3482

コラム ジムグリ

普段、あまり目にするのではないヘビ。漢字では「地潜」と書き、昼間は地中や石の下に潜っていることが多いため、人目につきにくいのです。

体長が30〜40センチの小さいころは、黒のまだら模様が入った派手な外見をしているので毒ヘビと思われるがちですが、毒はなく、かむこともほとんどないおとなしい性格です。

大きくなると1メートル以上になり、体色も地味な茶褐色に変化します。寒さに強く、他のヘビが冬眠しているような時期にも野外で観察できることがあります。

